

ロマンチック保存装置 #16





OJI PAPER LIBRARY

2010年9月6日～12月2日 開催

# 私たちがメーカーの 確固たる意志が 必要なんだと 確信しています。

ニーズに応えたいという言葉の陰で、実は思考停止に陥っていないだろうか？

今まで出逢ったことなかった方々と、真剣勝負の交流を重ねる中で、

とにかく逢ってみる、試してみる、悩み、また試してみる。

自らの身体を使い、自らの身体で感じることでしか、

新たな境地への推進力は、生まれないと思うのです。

紙の危機だとかザワザワしているこの瞬間は、逆に紙への意識が高まっている時。

私たちは、紙の確かな力を信じて、行動を起こし、発信することを続けていきます。



A	B	C	D	E	F
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■
○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■	○ ■■■

多彩な色のバリエーションに加え、  
ファンシーペーパーには、もうひとつの魅力があります。  
それが“柄”。

縦柄、横柄、凸凹柄、しぼ柄など、視覚的にも触覚的にも、心地よい風合いが楽しめます。

今回は王子特殊紙を代表する 10 種類の柄を一同に並べました。

それぞれ表面に印刷されているのは、もみじの葉。

絵柄は同じなのに、紙によって、ひとつひとつ、独自の表情を見せる面白さ。

手で触れることで、自分だけの“感触”を発見することもできるでしょう。

見て、楽しい。触っても、楽しい。

そんなファンシーペーパーの世界を、じっくり味わってください。



G	H	I	J	K	L
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●

## OKもみしば／OKミュージガリバー もみしば OKミュージバナナ／OKミュージガリバー リラ

ファンシーペーパーの風合いを保ちながら、同時に、印刷品質も極めたい。そんな相反する条件を見事にクリアしたのが、高級印刷用紙の最高峰“OKミュージガリバー・シリーズ”です。その秘密は、ベース紙が持つ柄を損なうことなく絶妙なバランスで施された塗工。ちなみに、“OKもみしば”の表面に塗工したものが、“OKミュージガリバーもみしば”“OKミュージバナナ”の表面に塗工したものが、“OKミュージガリバーリラ”。印刷後の表情は大きく異なります。



## あららぎ／ことぶき

本来、紙に入れてはいけないツワを、キレイに入れるという逆転の発想で、独特の柔らかな風合いを実現したのが“あららぎ”。紙の表情とは一転、現場の実力がためされる骨太の一紙は、根強いファンを獲得しています。そして、この“あららぎ”をベースに、金銀箔をきれいに散りばめたのが“ことぶき”。その名の通り華やかさを演出してくれます。箔を壊さず、キレイに散りばめる技術は、まさに職人芸。現場で培われた高度な技術に支えられた逸品です。



## OKミュージコットン／OKミュージラフィーネC OKもみしば／OKミュージラフィーネM OKぬのじ／OKミュージラフィーネN

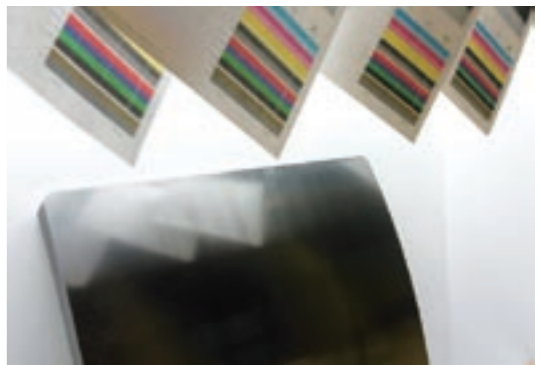
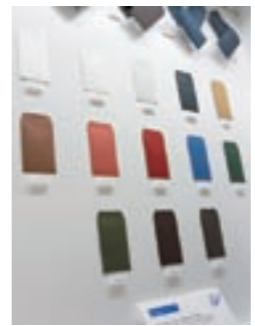
高級感を表現したい時、力強い味方になってくれるのがパール紙。印刷や加工では得られない奥行きのある上品な輝きが最大の特長です。その秘密は、表面に薄く塗られた鉱物にあります。本展示ではベース紙の柄によって、輝き方が変化する面白さを追求しました。ちなみに、OKミュージラフィーネの“C”は“OKミュージコットン”、“M”は“OKもみしば”、“N”は“OKぬのじ”。それぞれ、ベース紙の頭文字を採っています。これを機に、ぜひ覚えてください。



G	H	I	J	K	L
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

## ビオトップGA-FS

印刷では再現できない深みと、指先に伝わるやわらかな触感。色と質感に定評のある“ビオトップ GA-FS”に、新しく5色が加わりました。アプリコット、マロン、ダークブラウン、ネイビーブルー、ミッドナイトブルー。いままでの13色から、さらにバリエーション豊かな18色へ——。色と色が響き合う、カラフルな協奏曲を体感してみませんか。



## 名入れカレンダー-2011

日々、紙の危機が叫ばれている今だからこそ、製紙メーカーとして、紙の魅力を正々堂々とお伝えしたい。2011年のカレンダーのテーマに選んだのは、図書館です。ドイツ人の女性写真家、カンディダ・ホェファー氏が、世界各地で撮影した図書館の写真は、これまで文化を支えてきた紙の力を、改めて教えてくれることでしょう。それに伝えるべく、カレンダーに使う8枚の紙は、すべて異なる用紙を使いました。美しい写真とともに、紙の魅力を再発見してください。



## ヤンキードライヤー 春日井9号マシン操業開始20年

直径4m以上、巨大なヤンキードライヤーを装備した9号マシンが、春日井工場で稼働したのは1990年9月のこと。通常は小径のドライヤーを何十本も並べて乾燥させますが、ヤンキードライヤーなら、これ1本でOK。できあがった紙は、ピカピカのドライヤー表面に触れた側が艶面、反対側がザラ面となります。“OKブリザード”や“白夜”など、最近、注目されている片艶の紙は、このマシンで造られているのです。ちなみに、20年という時間は、マシンとしては、まだまだ駆け出し。できあがる紙ともども、これからも、力強い表情で、強烈な個性を放ち続けていきます。



A	B	C	D	E	F
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□
○	○	○	○	○	○
●	●	●	●	●	●
□	□	□	□	□	□

紙という“素材”を組み合わせて、本という“モノ”をかたちづくること。

本づくりの現場では、さまざまな“技”が関わってきますが、

なかでも、モノとして成立させるためには、製本技術が欠かせません。

今回、ブックデザイナーの名久井直子さん、

そして、図書印刷・図書製本とのコラボレーションというかたちで、さまざまなトライアルを実践しました。

新しいアイデアを検討することで、紙と製本の間関係を、改めて、見直してみたかったのです。

色、手触り、風合い——。

紙ならではの表情を楽しんでいただくべく、一部を除き、あえて印刷は施していません。

本というカタチを入口に、どうぞ、紙の魅力に触れてみてください。

### ナチュラル？ ビビッド？

同じ並製本でも、紙によって、表情がががりと変わります。左側の本は、本文に〈OK アドニスラフ Blue〉を、表紙にはパッケージによく使われる〈日光クラフトボール〉を使用。ナチュラルで素朴なイメージです。一方、右側の本は、本文に〈SA 金藤+〉を、表紙には店頭POPでおなじみの〈蛍光カラー〉を使用。一転して、ビビッドで人工的なイメージとなりました。本のイメージに合わせて幅広いジャンルから紙を選ぶこと。本を作るときの醍醐味のひとつです。



### 本だっておしゃれしたい アートドリープを着こなす

半透明の紙に、白い柄が浮かび上がる〈アートドリープ〉。今回は9種類ある柄の中から、縦縞（ストライプ）を選び、表紙に使用しました。半透明という特色を活かしたところ、芯ボールに描かれたイラストレーションが、うっすら透けて見え、思わぬ効果を発揮しました。〈アートドリープ〉は、繊細な印象とは裏腹に、耐久性も高く、折った時に紙が裂けてしまうこともありません。使いようによっては、意匠的にも強度的にも、大いに活躍してくれそうです。





G	H	I	J	K	L
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●

## 小口にも印刷できる!

通常の印刷とは異なり、製本ラインに組み込まれているのが小口印刷。本の背以外の三方を断裁した後、スタンプを押す要領で、小口面にインキをのせていきます。通常は、辞書類のインデックスなどに用いられる技術ですが、今回はイラストをあしらい、デザイン上のアクセントとして使用。しかも、小口だけでなく、絵柄とインキの色を変え、天地にも印刷してみました。角丸にカットした本文用紙と相まって、愛らしさを感じさせる一冊となりました。



## 本だっておしゃれしたい 見えない部分を大胆に見せる

着こなしの鉄則は、見えない部分にまで気配りを忘れないこと。チップボールを貼りあわせる際、真ん中に〈OKACカード〈まあか〉〉を3枚挟んで合紙し、オリジナルの表紙を制作しました。表面からはわかりませんが、斜めにカットした断面を見ると、あざやかな赤色が目に飛び込んできます。また、あえて背をむき出しにすることで、普段は目にするこたない糸かがりも露出。ピンク色の糸を使うことで、あざやかさが、ひときわ目立ちます。



## タテ目とヨコ目

紙には、繊維の並びに起因する“紙目”があります。それがタテ目（T目）とヨコ目（Y目）です。同じ四六判や菊判という大きさでも、タテ目とヨコ目では、曲げる方向によって、柔らかさが異なります。1枚だけであれば、とくに問題は生じませんが、本のように束になった場合は、紙目の違いが重要になります。では、ために間違った紙目の紙を、一部分に使ってみると……？ 紙は起き上がってしまいました！



A	B	C	D	E	F
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

つなげる力・現場編  
人と人をつなげる社員たち

納品したら終わりじゃない。  
お客さんが満足したら、  
そこからまた次の仕事が  
**始まる。**

「このお客さんのためなら  
**がんばろう！」**  
と張りこめちゃってくださいよ。」

客先で即決が肝心。  
**何かハツク**  
で!

商品が売れると、  
**二重の喜びだね。**  
段ボールの発注も増える。

売れもよくなるのだから  
「景気！  
景気！  
人気！  
人気！」  
元気!

「俺が工場を  
**引っ張る！」**  
と、いつか張りきり営業しています。

会社を動かすのは、  
お客さんにだけアピスできるから  
いろんなアピスがあるから。  
アタマとカラダを、  
目一杯、使わないと!

「俺が工場を  
**引っ張る！」**  
と、いつか張りきり営業しています。

直接取引だからこの  
**醍醐味**  
を感じますね。



300種類の中から紙を検索して、無料サンプルをお持ち帰りいただけます。

# OJI PAPER LIBRARY

〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5 (王子製紙本社1階) papertec@ojipaper.co.jp

[www.ojigroup.net](http://www.ojigroup.net)



この用紙は、「ウルトラサテン金蔭N 菊判 Y目 93.5kg」を使用しています。